

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
<b>音楽教育学Ⅰ</b>	岩山 恵美子	単独	2単位	音楽学科 2年次	前期	選択	必修		選択必修	AD
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
<p>「我が国の音楽教育の変遷と教育への思い」</p> <p>我が国の音楽教育の変遷や学習指導要領の内容について理解することによって、音楽教育における指導者の役割と責任、今日的な教育課題を認識し、指導者としての基礎的な資質能力を身に付ける。</p> <p>これまでの各学習指導要領改訂の背景や内容の特徴について調べ、まとめる。</p> <p>音や音楽のとらえ方および学力観の変化を整理し、まとめる。</p>	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	・音と音楽 ・子どもたちの音楽的嗜好	シラバスを熟読しておく	データ資料(授業時配付)を分析しまとめる	9	・詰め込みからゆとりへ 昭和52年改訂の背景と内容	昭和50年代の社会の様子を調べる	昭和52年改訂の背景と内容をまとめる		
	2	・音楽と教育 ・音楽教育と音楽科教育	教育の場を調べる	学校で音楽を教える意義をまとめる	10	・個性重視の教育へ 平成元年の改訂の背景と内容	配付資料を読み、内容をまとめる	「音楽観」の変化をまとめる		
	3	・明治の音楽教育 「学制」頒布から小学校令まで	明治時代の社会の様子を調べる	明治時代の音楽教育の特徴をまとめる	11	・21世紀を見据えて 平成10年の改訂の基本的なねらい	配付資料を読み、生徒をめぐる状況の変化をまとめる	「生きる力」についてまとめる		
	4	・「唱歌」と「童謡」に込められた思い	大正時代の社会の様子を調べる	唱歌の変遷と童謡運動についてまとめる	12	・学力観の転換 新しい学力観と音楽教育	「学力」をどうとらえるか、自分の考えをまとめておく	音楽科の改善点をまとめる		
	5	・戦前・戦中の音楽 芸能科音楽 早期音楽教育	昭和初期の社会の様子を調べる	音楽教育に携わった教師の思いをまとめる	13	・平成20年度改訂の学習指導要領がねらうもの	学習指導要領解説p1～p10を読む	各学年の目標と内容を一覧にまとめる		
	6	・教育の再構築 学校教育における音楽の位置づけと学習指導要領(試案)	憲法の教育に関する条項の内容を調べる	教育の再構築にかけた思いをまとめる	14	・[共通事項]と言語活動	[共通事項]について調べる	学習指導要領を読み直し、内容を確認する		
	7	・高度経済成長期の音楽教育 学習指導要領(試案の改定)と昭和33年の改訂	昭和30年代の社会の様子を調べる	昭和33年改訂の背景と内容をまとめる	15	・まとめと試験(総復習)	今期の学修内容を見直し、質問事項を準備する	模範解答を元に見直し、質問事項を見直しをする		
	8	・教科内容の量的拡大 昭和43年改訂の背景と内容	昭和40年代の社会の様子を調べる	昭和43年改訂の背景と内容をまとめる	備考 ※音楽教育コース必修					
教科書・テキスト等	中学校学習指導要領解説音楽編(平成20年)(教育芸術社)、授業中、適宜、資料を配布			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
参考書・参考資料等	授業中、適宜、資料を配付				筆記試験	70%	内容の理解			
					毎時間の振り返り、態度	30%	事前事後学修の内容や意見の深まり、積極性			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
<b>音楽教育学Ⅱ</b>	岩山 恵美子	単独	2単位	音楽学科 2年次	後期	選択	必修		選択必修	AD
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
<p>「これからの音楽教育」</p> <p>音楽教育の現状と課題や評価について、さらに国内外の音楽教育論の概要について学ぶことをとおして、今日的な教育課題を把握し、音楽教育における指導者の役割と責任、さらに、指導者としての基礎的な資質能力について理解することができる。</p> <p>これからの音楽教育において育てたい態度や能力についてまとめるとともに、世界や日本の代表的な音楽教育論者の考えについて調べ、発表する。</p> <p>音楽教育における評価について理解し、題材の具体的評価規準を作る。</p>	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	10年後の教育	シラバスを熟読しておく	予想される社会の変化と子どもの変化をまとめる	9	音楽科における評価 4観点とその趣旨 観点の変更(3観点)	音楽の授業でどのような評価を受けてきたかまとめる	音楽科で行われる評価方法をまとめる		
	2	現行教育の課題と改善の方向	配付資料を読み、要点をまとめる	今日の課題と改善の方向性をまとめる	10	題材の評価規準 表現領域と鑑賞領域	参考資料(テキスト)のp21～p32を読んでおく	評価規準に盛り込むべき事項を再確認する		
	3	指導要領改訂の基本方針と改訂の趣旨	学習指導要領解説p1～p8を読んでおく	基本方針と改訂の趣旨をまとめる	11	題材の観点別評価規準設定の実際 観点:主体的に学習に取り組む態度	配付資料を読んでおく	具体的評価規準を作成する		
	4	音楽科目標と指導内容の改訂	学習指導要領解説p9～p34を読んでおく	音楽科目標と指導内容の新旧対照表をつくる	12	題材の観点別評価規準設定の実際 観点:思考・判断・表現 観点:知識・技能	2観点の観点別評価規準を設定してみる	具体的評価規準を作成する		
	5	求められる指導のあり方 (主体的・対話的で深い学び)	アクティブラーニングについて調べ、まとめる	これからの音楽教育のあり方について考えをまとめる	13	学習活動に則した評価規準	配付資料を読んでおく	提示した題材の評価計画を作成する		
	6	世界の主な音楽教育論(討議) ダルクローズ、コダーイ、オルフ、ジョン・ペインター、鈴木鎮一、斉藤秀雄	主な教育論者(提示)を選び、調べておく	グループ内の情報を参考に、更に深く調べる	14	本時の評価の進め方と総括	評価方法を考えておく	評価のあり方について自分の考えをまとめる		
	7	世界の主な音楽教育論(発表) ダルクローズ、コダーイ、オルフ、ジョン・ペインター、鈴木鎮一、斉藤秀雄	調べたことをまとめ、発表の準備をしておく	「世界の主な音楽教育論」についてレポートを書く	15	まとめと試験(総復習)	今期の学修内容を見直し、質問事項を準備する	模範解答をもとに自分の解答を見直す		
	8	新しい評価の考え方 評価の役割と方法 観点別学習状況評価	参考資料(テキスト)のp21～p32を読んでおく	評価と指導の関係についてまとめる	備考 ※音楽教育コース必修					
教科書・テキスト等	学習指導要領解説音楽編(平成29年)(教育芸術社)、評価規準作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料[中学校 音楽](教育出版)			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
参考書・参考資料等	授業中、適宜資料を配付				筆記試験	70%	内容の理解			
					毎時間の振り返り、態度	30%	事前事後学修の内容や意見の深まり、積極性			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
<b>教育制度論</b>	八間川 隆彦	単独	2単位	音楽学科 3年次	前期		必修			A C D E
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
①教育制度の意義・原理・構造について、法的・制度的仕組の基礎的知識、及び教育制度上の諸課題を理解する。②学校と地域との連携の意義・協働の仕方について、事例を通して理解する。③学校事故・災害・事件の実情を知り、学校安全の目的、危機管理の具体的な取組を理解する。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	教育に関する制度的事項（学校制度の成立）公教育の理念と発達、学校改革の現状、教育制度の区分について理解する	学校制度の系統について調べる	公教育の発達と現在の学校制度についてまとめる	9	教育に関する制度的事項（教育行政）教育行政の理念と仕組みについて理解する	文科省・教育委員会の役割について調べる	教育行政の現状についてまとめる		
	2	教育に関する制度的事項（教育法規の体系）法律主義の原則、社会権の規定、教育の法制について理解する	主な教育法規とその体系を調べる	教育は法律主義、社会権があることをまとめる	10	教育に関する制度的事項（教育委員会）教育委員会のしくみ・就学・職務権限、教育委員会と学校について理解する	教育委員会の仕組みについて調べる	教育委員会の仕組み、権限、就学についてまとめる		
	3	教育に関する制度的事項（学校制度）学校の設置、学級編成、教職員組織の概要について理解する	中等教育の学校とそれらの設置者について調べる	中学校、高校等の仕組みについてまとめる	11	教育に関する制度的事項（学校教育上の諸課題）生徒指導上の諸課題について理解する	いじめ・不登校・暴力行為等の現状について調べる	生徒指導上の諸課題についてまとめる		
	4	教育に関する制度的事項（義務教育制度）就学義務、無償制度、就学援助、国庫負担制度の概要について理解する	義務教育の制度内容について調べる	義務教育の制度内容についてまとめる	12	学校と地域との連携（開かれた学校）地域との連携・協働による教育活動の意義と方法、開かれた教育課程の在り方を理解する	コミュニティースクールの現状について調べる	地域との連携・協働による教育活動についてまとめる		
授業の概要										
教職課程履修者に①教育制度の概要と今日的な教育上の課題、教育関係法規について、②学校と地域との連携、③学校安全への対応を概説する。教育職員としての使命感や、基礎的な資質・能力を養う。	5	教育に関する制度的事項（教育活動）教育活動の基本理念、教科指導、生徒指導について理解する	教育活動の基本的な指導法を調べる	基本的な教科指導、生徒指導の在り方をまとめる	13	学校安全への対応（学校での事故等の実情、学校安全の必要性）学校事故等の実情、学校保健安全法の内容、学校安全の必要性を理解する	学校管理下での事故等の実情について調べる	学校保健安全法に基づく学校安全についてまとめる		
	6	教育に関する制度的事項（教育課程の意義・原則、学習指導要領の基準性について理解する	教育課程と学習指導要領の関係について調べる	教育課程編成の原則、基準等についてまとめる	14	学校安全への対応（生活・交通・災害の安全教育、SNSの危険性、学校の危機管理）学校管理下での安全指導・管理について理解する	学校管理下での安全教育内容について調べる	学校管理下での安全指導・管理についてまとめる		
	7	教育に関する制度的事項（教育課程の実施）教育課程のマネジメント、教科書の意義・使用義務について理解する	教科書、補助教材の選定と使用について調べる	教科書、補助教材の選定と使用についてまとめる	15	教育に関する制度的事項（諸課題）社会変化と学校課程、生徒の生活変化と指導の在り方、教師の学びの精神について理解する	教育制度上の諸課題について調べる	教師の組織的対応・協働・学びの精神についてまとめる		
	8	教育に関する制度的事項（教育職員）教師に必要な資質能力、学級編成と教員定数、学校の教職員組織について理解する	教師になるために必要な資格について調べる	教師の資格、適格性、教職員組織についてまとめる						
教科書・テキスト等	毎時プリント資料を配付する（学習指導要領・学校教育に関する答申・教育関係法規等）			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
					課題レポート	60%	課題レポートを2回提出			
					授業態度	20%	授業の取り組み、意欲関心			
参考書・参考資料等					学修課題への対応	20%	事前・事後学修の実績			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
<b>特別支援教育論</b>	河田 将一	複数	1単位	こども学科 2年次	後期		必修			CF
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
①障害の特性、心身の発達、学習上・生活上の困難等の基礎的知識について理解し例示することができる。②特別支援教育に係る教育課程や支援方法を理解し例示することができる。③特別支援教育の体制整備、個別の指導計画及び個別的教育支援計画の作成、他機関等との連携について、その必要性と方法を理解し説明することができる。④母国語や貧困の問題等がもたらす特別的教育的ニーズに対しての組織的対応の必要性を理解し説明することができる。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	障害特性の理解と支援方法（1）障害特性、学習上・生活上の困難の理解	参考書の中から、授業と関連する記事等を読んでおく	配布物と書き取ったノートをもとめてテキストを自作	7	特別な教育的ニーズの理解と対応 母国語や貧困の問題等がもたらす特別的教育的ニーズの理解と組織的対応	参考書・配布物の中から、授業と関連する記事等を読んでおく	配布物と書き取ったノートをもとめてテキストを自作		
	2	障害特性の理解と支援方法（2）障害特性、学習上・生活上の困難を踏まえた支援方法の理解（1）アセスメントに基づく指導と支援を中心に	参考書・配布物中から、授業と関連する記事等を読んでおく	配布物と書き取ったノートをもとめてテキストを自作	8	試験と総括講義 試験とこれまでの授業の総括としての講義	これまで作った自作テキストで総復習しておく	配布物と書き取ったノートをもとめてテキストを完成		
	3	障害特性の理解と支援方法（3）障害特性、学習上・生活上の困難を踏まえた支援方法の理解（2）ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくり・指導と支援を中心に	参考書・配布物中から、授業と関連する記事等を読んでおく	配布物と書き取ったノートをもとめてテキストを自作						
	4	特別支援教育の教育課程インクルーシブ教育システムの構築、進学先等の決定プロセスに関する理解、特別支援学校・特別支援学級・通級による指導に関する制度・内容の理解、自立活動とその内容の理解、交流及び共同学習の理解	参考書・配布物中から、授業と関連する記事等を読んでおく	配布物と書き取ったノートをもとめてテキストを自作						
授業の概要										
発達障害をはじめとする特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒が通常の学級にも在籍している現状を踏まえ、当該幼児、児童及び生徒が主体的に学習し、生きる力を身に付けていくために、彼らの学習上又は生活上の困難を理解した上で、個別的教育的ニーズを把握し、園・学校総体として関係機関とも連携した組織的対応をしていくために必要な知識や支援方法を理解する。	5	特別支援教育の体制整備 特別支援教育コーディネーターの指名、園・校内委員会の位置付け、研修の充実、特別支援学校のセンター機能の活用、データベースの活用、ケース検討会の充実	参考書・配布物中から、授業と関連する記事等を読んでおく	配布物と書き取ったノートをもとめてテキストを自作						
	6	個別の指導計画・教育支援計画の作成等PDCAサイクルに基づく個別の指導計画、個別的教育支援計画の作成、他機関との連携の重要性、移行支援の重要性	参考書・配布物中から、授業と関連する記事等を読んでおく	配布物と書き取ったノートをもとめてテキストを自作						
教科書・テキスト等	毎回、授業データを書取り又は配布し、1冊のテキストが完成できるようにする。			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
					平常点	20%	本科目への関心・態度・意欲			
					課題/レポート	20%	知識、理解度、思考力、判断力、表現力			
参考書・参考資料等	特別支援教育研究（東洋館出版社：月刊）、実践障害児教育（学研：月刊）、特別支援教育（文部科学省：季刊）など				期末テスト	50%	知識、理解度、思考力、判断力、表現力			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
<b>教育課程総論</b>	福山 範夫	単独	2単位	音楽学科 3年次	前期	選択	必修			A C D E
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
○自分が取り組んでみたいカリキュラムを開発する	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
学習指導要領に基づく教育課程編成の意義や編成方法、カリキュラム・マネジメントの意義等について理解するとともに、総合的な学習の時間の指導計画を作成することができる。	1	教育課程とは何か ・学習指導要領の性格と位置づけ ・教育課程編成の目的	学習指導要領の性格と位置づけについて調べる	学習指導要領の性格と位置づけについて整理する	9	教育課程編成の理論と方法② ・教育課程編成の基本原則 ・学校の教育目標と教育課程	教育課程編成の基本原則について調べる	学校の教育目標と教育課程の関係を整理する		
	2	教育課程と学力 ・学力調査と教育課程 ・求められる学力と教育課程	PISA・全国学力学習状況調査について調べる	教育課程と学力の関係について整理する	10	教育課程編成の実例① ・特色ある実践事例① ・教科や領域を横断する	教科や領域を横断する教育課程編成について調べる	特色ある実践校の取組を収集・整理する		
	3	学習指導要領の変遷① ・昭和22年版 昭和26年版 昭和33年版 ・社会背景と求められる学力	22・26・33年版学習指導要領について調べる	社会背景と求められる学力の関係整理する	11	教育課程編成の実例② ・特色ある実践事例② ・単元や学年をまたぐ	単元や学年をまたぐ教育課程編成について調べる	特色ある実践校の取組を収集・整理する		
	4	学習指導要領の変遷② ・昭和43年版 昭和52年版 平成元年版 ・教育課程の果たす役割と機能	43・52・元年版学習指導要領について調べる	教育課程の果たす役割と機能を整理する	12	カリキュラム開発ワークショップ① ・総合的な学習の時間の目標と内容 ・テーマ設定と付けたい力	総合的な学習の時間の目標と内容について調べる	設定したテーマと付けたい力との関係を吟味する		
授業の概要										
学習指導要領に基づいて各学校の教育課程が編成され、それに基づいて日々の授業や教育活動が実践される。学校教育の柱ともいえる教育課程編成の原理や方法を明らかにし、それを踏まえて総合的な学習の時間の指導計画を作成する。学習指導要領の変遷の背景と次期学習指導要領への理解を促す。	5	学習指導要領の変遷③ ・平成10年版 平成20年版 ・学力とは何か	10・20年版学習指導要領について調べる	10・20年版学習指導要領について整理する	13	カリキュラム開発ワークショップ② ・内容の選択と配置 ・他教科や領域との効果的な関連	テーマを踏まえ、学習の素材になるものを集める	多様なカリキュラム評価の方法を比べて整理する		
	6	次期学習指導要領① ・身に付けるべき資質・能力 ・主体的・対話的で深い学び	次期学習指導要領のポイントについて調べる	次期学習指導要領のポイントについて整理する	14	カリキュラム評価 ・評価の目的 ・評価の内容と方法	カリキュラム評価の方法について調べる	多様なカリキュラム評価の方法を比べて整理する		
	7	次期学習指導要領② ・社会に開かれた教育課程 ・カリキュラム・マネジメント	カリキュラム・マネジメントの意義について調べる	社会に開かれた教育課程の意義を整理する	15	教育課程と授業デザイン ・教材開発 教材研究 授業デザイン ・創造的なカリキュラムと豊かな授業	試してみたい楽しい授業について構想する	身の回りからカリキュラム開発の種を見つける		
	8	教育課程編成の理論と方法① ・経験主義の教育課程 ・系統主義の教育課程	経験主義・系統主義の教育課程について調べる	経験主義・系統主義の教育課程について整理する						
教科書・テキスト等	中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編（東山書房）	成績評価基準	評価方法	割合（%）	評価のポイント					
参考書・参考資料等	適宜、資料を配付する。		試験・レポート	50%	理解の確かさ・認識の深さ・独自の考え					
			課題への取組	30%	事前準備・意見発表・事後整理の状況					
			平常点	20%	意見交流への前向きな参加態度					

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
<b>総合的な学習の時間の指導法</b>	前田 康裕	単独	1単位	音楽学科 2年次	後期		必修			EF
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
「総合的な学習の時間」の意義やねらいを理解し、学修を支援していくための基本的な考え方について理解を深める。指導計画の作成および具体的な指導の仕方、並びに学習活動の評価に関する知識・技能を身に付ける。	回	学修内容	事前学修	事後学修						
プロジェクト型の協働学習を実際に体験することによって、学習者としての知見を得る。また、指導計画やルーブリック、ポートフォリオ等を作成することによって、指導と評価の具体的な知識・技能を身に付ける。	1	総合的な学習の時間の背景と目的、教育課程の位置づけについて学ぶ。	学習指導要領を理解しておく。	課題に応じて情報を収集する。						
	2	演習1によって課題設定と情報の収集を実際に体験する。	グループで情報の検討を行う。	まとめた情報を精選する。						
	3	演習2によって情報のまとめ方と評価を実際に体験する。	グループで発表の準備を行う。	実践事例を収集する。						
	4	総合的な学習の時間を支える学習理論と具体的な実践事例を学ぶ。	学習指導要領を理解しておく。	課題に応じて情報を収集する。						
授業の概要										
プロジェクト型の協働学習を実際に体験することによって、学習者としての知見を得る。また、指導計画やルーブリック、ポートフォリオ等を作成することによって、指導と評価の具体的な知識・技能を身に付ける。	5	今までの学習を元に、総合的な学習の時間の計画を立案する。	グループで情報の検討を行う。	計画に沿って情報を収集する。						
	6	実際のプロジェクト学習によって課題設定と情報収集を体験的に理解する。	グループで発表の準備を行う。	実践事例を収集する。						
	7	実際に発表を行うことによって、評価の方法を具体的に理解する。	学習全体を振り返る。	レポートにまとめる。						
	8	学修全体を振り返って総括討論を行い、自らの学びを省察する。	学習全体を振り返る。	レポートにまとめる。						
教科書・テキスト等	「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」（平成29年）	成績評価基準	評価方法	割合（%）	評価のポイント					
参考書・参考資料等			各時間のリフレクション	50%	各時間の体験を自らの省察に生かしているか					
			最終レポート	50%	学修全体を振り返り、省察しているか					

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
<b>特別活動の研究</b>	井手 公二	単独	2単位	音楽学科 2年次	後期		必修			A C D E
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
特別活動について理解を深め、実践的な指導力を修得する。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	オリエンテーション 特別活動と教育課程の編成	学習指導要領 解説特別活動 編の該当箇所 を読んでおく	講義内容確認 と資料を整理 する	9	学校行事の目標と内容	学習指導要領解 説特別活動編の 該当箇所を讀ん でおく	講義内容確認 と資料を整理 する		
	2	特別活動の変遷	学習指導要領 解説特別活動 編の該当箇所 を読んでおく	講義内容確認 と資料を整理 する	10	学校行事の指導計画と作成	学習指導要領解 説特別活動編の 該当箇所を讀ん でおく	講義内容確認 と資料を整理 する		
	3	特別活動の目標と内容	学習指導要領 解説特別活動 編の該当箇所 を読んでおく	講義内容確認 と資料を整理 する	11	特別活動の指導案考察	配付プリント資 料を讀んでおく	講義内容確認 と資料を整理 する		
	4	特別活動の基本的な性格と教育的意 義	学習指導要領 解説特別活動 編の該当箇所 を読んでおく	講義内容確認 と資料を整理 する	12	指導案の作成	配付プリント資 料を讀んでおく	講義内容確認 と資料を整理 する		
	5	学級活動の目標と内容①	学習指導要領 解説特別活動 編の該当箇所 を読んでおく	講義内容確認 と資料を整理 する	13	指導案作成と検討	配付プリント資 料を讀んでおく	講義内容確認 と資料を整理 する		
	6	学級活動の目標と内容②	学習指導要領 解説特別活動 編の該当箇所 を読んでおく	講義内容確認 と資料を整理 する	14	特別活動の評価	学習指導要領解 説特別活動編の 該当箇所を讀ん でおく	講義内容確認 と資料を整理 する		
	7	学級活動の指導計画	学習指導要領 解説特別活動 編の該当箇所 を読んでおく	講義内容確認 と資料を整理 する	15	まとめ	配付資料をまと めておく	講義内容確認 と資料を整理 する	実践につな がるよう整 理しておく	
	8	生徒会活動の目標と内容	学習指導要領 解説特別活動 編の該当箇所 を読んでおく	講義内容確認 と資料を整理 する						
教科書・テキスト等	中学校学習指導要領解説特別活動編（最新版）（東山山房）適宜プリント資料を配付する。			成績 評価 基準	評価方法	割合（%）	評価のポイント			
					期末試験	60%	筆記試験			
					課題提出	20%	小テスト等			
参考書・参考資料等					平常点	20%	講義内容についての理解度、学修態度			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
<b>教育方法・技術</b>	福山 範夫	単独	2単位	音楽学科 2年次	前期		必修			A C D E
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
○「学習指導案」を書いてみる 教師は、生徒の学びを促し、教育効果を上げるために、多様で きめ細かい指導の工夫を様々な に凝らしている。そのことを、学 習指導案の作成と模擬授業の実 施によって実感的に理解する。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	授業とは何か ・「授業を構成する基礎的要件 ・「教える」ことと「学ぶ」こと	心に残る授業 を想起し、よ い関係につい て考える	教えることと 学ぶこととの 関係を考え整 理する	9	指導技術③ ・情報機器による教材作成と提示 ・教師の活用 生徒の活用	情報機器の効果 的な活用につ いて調べる	情報機器の多 様で効果的な 活用方法を考 える		
	2	授業でつくる学力 ・学力の三要素とは ・資質・能力の三つの柱とは	学力の三要 素、育む資 質・能力につ いて調べる	学力、資質能 力はどうすれ ば育つか考 える	10	情報を活用する力 ・情報活用能力を育む ・情報モラルを育む	新聞等で、情報 モラルに関わ る問題事例を調 べる	情報活用能力 を育む指導法 の工夫を考 える		
	3	授業の理論と実践 ・多様な方法論を知る ・実践からの理論 理論からの実践	いろいろな授 業の方法論に ついて調べて 整理する	教育方法の基 礎的理論と実 践展開を整理 する	11	次期学習指導要領とこれからの授業 ・主体的な学び 対話的な学び 深い学び ・特別な支援を要する生徒への配慮	主体的・対話的 で深い学びにつ いて調べる	特別な支援を 要する生徒へ の配慮を整理 する		
	4	授業の構想① ・目標の設定 内容の選択 ・方法の工夫 評価の計画	授業の目標・ 内容・方法・ 評価の関係に ついて調べる	授業の目標・ 内容・方法・ 評価の関係を 整理する	12	学習指導案を書く① ・教材研究 生徒の実態 ・学習目標 評価規準	学修内容を踏ま えて学習指導案 を書く	学修内容を踏 まえて学習指 導案を修正す る		
	5	授業の構想② ・教材研究 生徒理解 ・学習指導案	教材研究や実 態把握の方法 について調べ る	学習指導案の 形式や内容を 整理する	13	学習指導案を書く② ・単元の学習指導計画 ・本時の学習展開 発問 板書	学修内容を踏ま えて学習指導案 を書く	学修内容を踏 まえて学習指 導案を修正す る		
	6	授業の構想③ ・単元の構成 ・1時間の展開	単元構成、授 業展開の工夫 について調べ る	単元構成、授 業展開の工夫 を整理する	14	学習指導案を書く③ ・評価規準と評価方法 ・模擬授業とリフレクション	学修内容を踏ま えて学習指導案 を書く	模擬授業を踏 まえて学習指 導案を修正す る		
	7	指導技術① ・発問 指示 説明 ・板書 教材 教具	効果的な発問 や板書の方法 について調べ る	効果的な発問 や板書の方法 等を整理する	15	授業とは何か ・いま考える「よい授業」とは ・学び続ける力の基礎を培う授業	自身が考える 「よい授業」に ついて整理する	「よい授業」 に対する自分 の考えを整理 する		
	8	指導技術② ・ノート ワークシート ・学習形態 机間指導	多様な学習形 態について調 べ、よさにつ いて考える	多様な学習形 態についてそ れぞれのよさ を整理する						
教科書・テキスト等	中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編（東山山房）			成績 評価 基準	評価方法	割合（%）	評価のポイント			
					試験・レポート	50%	理解の確かさ・認識の深さ・独自の考え			
					課題への取組	30%	事前準備・意見発表・事後整理の状況			
参考書・参考資料等	適宜、資料を配付する。				平常点	20%	意見交流への前向きな参加態度			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
生徒指導の理論と方法	福山 範夫	単独	2単位	音楽学科 2年次	前期		必修			A C D
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
○生徒指導の現状を知る	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
生徒指導の基礎理論を踏まえながら、生徒指導上の問題の現状を把握し、具体的な対応について考える。そのことを通じて、実践的な指導力を身につける。	1	生徒指導の意義と課題 ・生徒指導の意義 ・発達観、指導観	テキスト「意義と課題」に関する箇所を読む	生徒指導の意義と課題について整理する	9	いじめ問題 ・「いじめ」の定義の変遷 ・いじめ問題への対応	テキスト「いじめ」に関する箇所を読む	新聞等の「いじめ」報道から現状を把握する		
	2	生徒指導の方法原理 ・集団指導の方法原理 ・個別指導の方法原理	テキスト「指導の方法原理」に関する箇所を読む	集団と個別の方法原理を対比的にまとめる	10	不登校問題 ・「不登校」とは ・不登校問題への対応	テキスト「不登校」に関する箇所を読む	新聞等の「不登校」報道から現状を把握する		
	3	教育課程と生徒指導 ・教育課程における位置付け ・教科、領域等における指導	テキスト「教育課程」に関する箇所を読む	教育課程における生徒指導の位置付けをまとめる	11	暴力行為 ・校内暴力への対応 ・家庭内暴力への対応	テキスト「暴力行為」に関する箇所を読む	新聞等の「暴力行為」報道から現状を把握する		
	4	生徒理解と生徒指導 ・生徒理解とは ・生徒理解の方法と留意点	テキスト「生徒理解」に関する箇所を読む	生徒理解の資料収集の方法と留意点をまとめる	12	今日的な生徒指導上の課題への対応 ・インターネット、性 ・命の教育、自殺防止	テキスト「今日的課題」に関する箇所を読む	新聞等の「SNS」「自殺」報道から現状を把握する		
授業の概要	5	校内生徒指導体制の確立 ・校務分掌上の立場や役割 ・目標、基本方針、指導計画	テキスト「生徒指導体制」に関する箇所を読む	テキスト「評価」に関する箇所を読み整理する	13	法令と生徒指導 ・校則と法令 ・懲戒、体罰と法令	テキスト「法令」に関する箇所を読む	新聞等の「体罰」報道から現状を把握する		
文部科学省『生徒指導提要』を基本テキストとして、生徒指導に関する基本的な認識を深めていく。その際に、具体的な事例を挙げながら、その事例への対処を通して考えるようにしていき、基本的な認識と実践的な認識とを結びつけながら理解していくことを促す。	6	教育相談 ・教育相談の意義 ・教育相談の進め方	テキスト「教育相談」に関する箇所を読む	教育相談体制と生徒指導体制の違いを整理する	14	家庭・地域・関係機関との連携 ・家庭や地域における生徒 ・学校や家庭、地域、関係機関との連携	テキスト「連携」に関する箇所を読む	連携する関係機関を把握し、整理する		
	7	生徒全体への指導 ・教員の役割 ・基本的な生活習慣確立 規範意識醸成	テキスト「全体への指導」に関する箇所を読む	テキスト「担任」に関する箇所を読み整理する	15	これからの生徒指導 ・予防と治療 ・自己存在感を育む	自分はどうな生徒指導を行う教師になるか考える	生徒指導に関する報道から現状を把握する		
	8	個別の問題行動への指導 ・近年の問題行動の特徴 ・問題行動への対応の視点	近年の問題行動の特徴と対応について調べる	新聞等の報道に関心を持ち、いまの課題を把握する						
教科書・テキスト等	生徒指導提要(教育図書)			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
					試験・レポート	50%	理解の確かさ・認識の深さ・独自の考え			
					課題への取組	30%	事前準備・意見発表・事後整理の状況			
参考書・参考資料等	適宜、資料を配付する。				平常点	20%	意見交流への前向きな参加態度			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
教職実践演習	岩山 恵美子	単独	2単位	音楽学科 4年次	後期		必修			C D E
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
教育の諸問題について、自分の考えをまとめることができる。学びを深める授業を構想し、指導案を作成・模擬授業をすることができる。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	教育実習で得たもの(グループ討議)	教育実習で使った資料を見直しておく	「私にとって教育実習の価値」をまとめる	9	アクティブ・ラーニングとは	配付資料を読み質問内容をまとめておく	実習時の指導案をアクティブ・ラーニングの視点で見直し		
	2	教師に求められるもの(グループ討議)	論点整理などをともに、求められる教師像を調べておく	「教師像」について自分の考えをまとめる	10	学びを深める授業を構想	模擬授業用の教材を選び、視聴演奏しておく	本時、展開案を作成する		
	3	特別支援教育と音楽(グループ討議)	特別支援教育について調べておく	今日のテーマについて自分の考えをまとめる	11	授業構想の再検討	生徒の反応を予想しておく	学習カード等、必要な教材・教具を作成・準備する		
	4	特別な配慮を要する子どもへの対応～音楽療法の視点から～(講演)	講師への質問を準備しておく	今日のテーマについて自分の考えをまとめる	12	模擬授業と討議(鑑賞) 教材例: プルタバ	指導案を作成し、教材や使用機器の確認をしておく	指導案は指導案を改善し、生徒役は気づきをまとめる		
授業の概要	5	ICTを活用した授業の工夫～実践例から学ぶ～(座学)	教育実習でのICT活用の体験をまとめておく	実習時の指導案をICT活用の視点で見直し修正する	13	模擬授業と討議(歌唱) 教材例: 花	指導案を作成し、教材や使用機器の確認をしておく	授業者は指導案を改善し、生徒役は気づきをまとめる		
学校教育に関する諸問題についての現状と対応策について調査・研究し、意見交換をすることを通して、各課題についての理解を深め、自分なりの考えをもつ。	6	学級経営と集団づくり(グループ討議)	教育実習での学級経営の様子をまとめておく	「集団づくり」について自分の考えをまとめる	14	模擬授業と討議(鑑賞) 教材例: 魔王	指導案を作成し、教材や使用機器の確認をしておく	授業者は指導案を改善し、生徒役は気づきをまとめる		
	7	保護者・地域との関係づくり(講演)	講師への質問を準備しておく	「保護者・地域との連携」についての考えをまとめる	15	模擬授業と討議(歌唱) 教材例: 浜辺の歌 レポート課題の提示	指導案を作成し、教材や使用機器の確認をしておく	授業者は指導案を改善し、生徒役は気づきをまとめる		
	8	学生が設定した課題 例: 改訂学習指導要領の内容 中学生の音楽的発達など	課題について、自分なりの考えをまとめておく	課題についての考えを深め、まとめる						
教科書・テキスト等	学生作成の資料			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
					レポート	40%	課題についての内容充実・論旨の一貫性			
					課題検討への取り組み	40%	事前・事後学修の深まり・積極的参加			
参考書・参考資料等	授業中、適宜資料を配付する				平常点	20%	毎時間の振り返り、理解度、自分なりの考え			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
<b>教育実習指導 (事前・事後指導含む)</b>	岩山 恵美子	単独	1単位	音楽学科 3年次	後期		必修			ADE
授業のテーマ及び到達目標	授業計画									
<p>・教育実習の意義について理解し、実習目標を立てることができる。</p> <p>・各自作成した学習指導案をもとに、中心活動部分の指導ができる。</p> <p>・指定された7つの楽曲の伴奏を間違わずに弾き、教室内に届く声で歌うことができる。</p> <p>・教員採用試験に向けての準備学習計画を立てることができる。</p>	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	教育実習までのスケジュール 教育実習の意義・内容	シラバスを熟読しておく	「心に残っている教師」についてまとめる	9	教育実習の実際と現場の願い	教育実習概説を読んでおく	教育実習への抱負をまとめる		
	2	教育実習の実践に当たって教師に求められる資質能力	教育実習概説を読んでおく	教育実習までに身につけておきたいことをまとめる	10	<4年次：直前指導> 教育実習実施までの準備と諸手続き 校長会との申し合わせ事項の確認 実習参加における留意点	実習受け入れ校、実習期間、本学の指導教員を確認する	必要書類を提出後、指導教員による個別面談を受ける		
	3	生徒の素顔 実習を受け入れる立場から	教育実習概説を読んでおく	教育実習に対する思いをまとめる	11	<4年次：事後指導> 教育実習の反省と総括 教育現場に立つまでの学修計画と諸手続き	実習時の諸資料を読み返しておく	自分に必要な資質能力を考え今後の学修計画を立てる		
	4	音楽の授業づくり (九州音楽教育研究会公開授業記録)	中学校学習指導要領解説音楽編を読み直す	模擬授業のための教材を選択し、分析をする						
授業の概要										
<p>教育職員に必要な資質能力及び職務の概要について再確認し、教育実習の意義を理解し、さらに、教育実習に臨む基本的な心構えを身につける。</p> <p>教材曲の弾き歌いや各自で作成した学習指導案をもとにした模擬授業を通して、教育実習の受講許可判断を行う。</p>	5	模擬授業ガイダンス 授業領域、教材選択範囲、指導案様式	教育実習概説を読んでおく	題材名、教材名を確定し、教務課に届ける						
	6	人権教育についての講座 (熊本県教育委員会人権同和教育課より招聘)	人権啓発リーフレット(事前配付)を読んでおく	「人権教育の意義」について自分の考えをまとめる						
	7	模擬授業と弾き歌い 4グループに分かれての模擬授業	学習指導案の作成と模擬授業の準備、弾き歌いの練習	模擬授業での指導をもとに学習指導案を見直し修正する						
	8	教育実習までの課題 模擬授業の反省と課題	模擬授業で気付いたことをまとめる	学習指導案作成について整理する						
教科書・テキスト等	教育実習概説(平成音楽大学)、中学校学習指導要領解説音楽編(平成29年)(教育芸術社)、中学生の音楽1、中学生の音楽2・3上、中学生の音楽2・3下(教育芸術社)	成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント					
参考書・参考資料等			模擬授業	60%	指導案、準備・板書、発問・応答、音楽指導					
			弾き歌い	20%	伴奏の正確さ、歌唱：リズム、音程、音量等					
			教育支援ボランティア	10%	ボランティアの取り組みと生徒理解					
			毎時間の振り返り	10%	理解度、事前事後学修の取り組みと内容					

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
<b>教育実習 I</b>	岩山 恵美子	単独	4単位	音楽学科 4年次	前期		必修			ABCDEF
授業のテーマ及び到達目標	成績評価規準									
<p>生徒や教職員とのふれ合いを通して、これまで学修してきた教職科目や専門科目の理論と実践の統合を図り、教師としての資質能力、基礎的な知識や技能を身に付ける。</p> <p>・教職の意義や教員の役割、職務内容、生徒に対する責任などについての理解を深める。</p> <p>・生徒の生活や学習の実態、心理や行動を理解する。</p> <p>・生徒主体の授業、深い学びの授業づくりについて理解を深める</p> <p>・教科指導だけでなく、教育全般について理解を深める。</p>	実習態度		勤務状況	・教員として相応しい服装、髪型、言葉づかい ・遅刻、欠席が無く実習に専念						
	実習態度		教職員との協調と指導の受け入れ	・指導講話、指導助言を積極的に受け入れ、生かす ・部活動指導、職員作業等へ積極的に参加						
	実習態度		検討会・反省会	・授業検討会・反省会での意見発表と自己評価 ・検討会・反省会の内容整理と指導力向上						
	実習態度		実習記録	・実習記録、諸届けの提出状況 ・観察や検討会、実習の成果を踏まえた記録内容						
授業の概要										
○教育実習は、母校又は協力校(中学校)で3週間の連続した実習を行う。										
○以下の内容を、実習校の指導計画に従い指導担当教諭の下で実習する。										
<p>・講話 ・授業観察、授業参加、実地授業 ・研究授業 朝の会、帰りの会の指導、給食指導、清掃指導等</p> <p>・教室設営及び学級事務処理等</p> <p>・朝のボランティア活動</p> <p>・部活動指導等</p>	学習指導		教材研究及び準備	・事前の教材研究の深まり ・学習活動に必要な教材・教具・資料作成、板書計画						
	学習指導		学習指導案の作成	・題材の目標を捉え、目標達成に向けての学習活動の構想 ・発問構想、生徒の反応予想に基づく支援や評価の観点を踏まえた学習指導案						
	学習指導		授業展開における指導	・課題提示、発問、板書など学習活動を活発にする工夫 ・机間指導等での適切な言葉かけと評価						
○教育実習の内容と反省を「教育実習記録」に毎日記入し、提出する。										
授業計画										
○学内の通常授業としては開講されない。										
○実習校の教育実習計画に従って実施される。										
参考書・参考資料等	中学校学習指導要領解説音楽編(平成20年)(教育芸術社)、中学校学習指導要領解説音楽編(平成29年)(教育芸術社)、各実習校で使用している教科書、指導書など	生徒指導		学級活動	・学級活動、朝の会、帰りの会、係活動、当番活動での適切な指導 ・衛生面・安全面に留意した給食指導や清掃指導					
		生徒指導		学級経営	・教室設営、整理整頓、戸締まり等の管理への協力 ・生徒の作品やワークシートなどの適切な評価と取り扱い					

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
教育実習Ⅱ	岩山 恵美子	単独	2単位	音楽学科 4年次	後期		選択必修			A B C D E F
授業のテーマ及び到達目標			成績評価規準							
<p>生徒や教職員とのふれ合いを通して、これまで学修してきた教職科目や専門科目の理論と実践の統合を図り、教師としての資質能力、基礎的な知識や技能を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職の意義や教員の役割、職務内容、生徒に対する責任などについての理解を深める。</li> <li>・生徒の生活や学習の実態、心理や行動を理解する。</li> <li>・生徒主体の授業、深い学びの授業づくりについて理解を深める。</li> <li>・教科指導だけでなく、教育全般についての理解を深める。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習校による「教育実習評価」を下記の評価項目について5段階評価で行う。</li> <li>・項目ごとに、5（秀、優） 4（良） 3（可） 2（不可、劣る） 1（不可、非常に劣る）の達成度で評価する。</li> <li>・「教育実習評価」が6割に満たない場合は「不可」とする。</li> </ul>							
<p>授業の概要</p> <p>○教育実習は、母校（高等学校）で2週間の連続した実習を行う</p> <p>○以下の内容を実習校の指導計画に従い指導担当教諭の下で実習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講話 ・授業観察、授業参加、実地授業 ・研究授業</li> <li>・ホームルーム指導、給食指導、清掃指導 ・教室設営及び学級事務処理等 ・朝のボランティア活動 ・部活動指導</li> </ul> <p>○教育実習の内容と反省を「教育実習の記録」に毎日記入し、提出する。</p>			実務状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員として相応しい服装、髪型、言葉づかい</li> <li>・遅刻、欠席が無く実習に専念</li> </ul>					
			教職員との協調と指導の受け入れ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導講話、指導助言を積極的に受け入れ、生かす</li> <li>・部活動指導、職員作業等へ積極的に参加</li> </ul>					
			検討会・反省会		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業検討会・反省会での意見発表と自己評価</li> <li>・検討会・反省会の内容整理と指導力向上</li> </ul>					
			実習記録		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習記録、諸届けの提出状況</li> <li>・観察や検討会、実習の成果を踏まえた記録内容</li> </ul>					
<p>授業計画</p> <p>○学内の通常授業としては開講されない。</p> <p>○実習校の教育実習計画に従って実施される。</p>			学習指導		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前の教材研究の深まり</li> <li>・学習活動に必要な教材・教具・資料作成、板書計画</li> </ul>					
			学習指導案の作成		<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材の目標を捉え、目標達成に向けての学習活動の構想</li> <li>・発問構想、生徒の反応予想に基づく支援や評価の観点を踏まえた学習指導案</li> </ul>					
			授業展開における指導		<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題提示、発問、板書など学習活動を活発にする工夫</li> <li>・机間指導等での適切な言葉かけと評価</li> </ul>					
<p>参考書・参考資料等</p> <p>高等学校学習指導要領解説芸術（平成21年）（教育出版）、高等学校学習指導要領解説芸術（平成30年）（教育出版）、各実習校で使用している教科書、指導書など</p>			生徒指導		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒との良好な関係づくり</li> <li>・休み時間、委員会活動、学校行事等での積極的な関わり</li> </ul>					
			学級活動		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級活動、朝の会、帰りの会、係活動、当番活動での適切な指導</li> <li>・衛生面・安全面に留意した給食指導や清掃指導</li> </ul>					
			学級経営		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室設営、整理整頓、戸締まり等の管理への協力</li> <li>・生徒の作品やワークシートなどの適切な評価と取り扱い</li> </ul>					